平成20年度 高等学校「生物」研修 実施要項

- 1 目的 生物領域に関する研修を実施し、その資質と指導力の向上を図る。
- 2 対象者 高等学校（岸和田市立の定時制の課程を含む）、府立支援学校（高等部）の理科担当教諭及び常勤講師
10年経験者研修の選択対象研修
募集人数 第1回30名、第2・3、4・5回各15名
- 3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	7月25日（金） 14:00～17:00	ホヤとオタマボヤの発生過程と細胞運命決定のメカニズム ホヤはモザイク卵の代表として知られ、発生学の研究材料として古くから用いられてきた。近年、ホヤのゲノム解析が終了し、進化研究の面からの進展が期待されているところである。 前半はマボヤの発生過程と細胞運命の決定機構について解説し、後半はワカレオタマボヤの実験動物としての有用性について紹介する。 〔講演〕	大阪大学理学研究科 教授 西田 宏紀
2 ・ 3	7月28日（月） 10:00～17:00	水界生態系における微細藻類の役割 海洋、湖沼などの水界生態系における微細藻類は一次生産者として大きな役割を持っている。微細藻類の生物量の測定を中心とした講義と実習を行う。 〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員
4 ・ 5	7月29日（火） 10:00～17:00	動物の発生メカニズム 動物の発生に関する最近の研究について概観し、そのしくみを理解することを目標とする。 実習では、両生類の発生過程の観察、及び軟体動物の発生の観察を行い、ダイナミックな発生現象を実感する。 〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員

留意点

希望する回を受講推薦者名簿のコメント又は備考欄に記入すること。ただし、すべての回を希望する場合は空欄でよい。

実習を行うので、研修当日は白衣等の実験着を持参すること。

- 4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担 当 室 理科第二室

- 6 そ の 他 (1) 自家用自動車等で来所しないこと。
(2) 受付は30分前から。
(3) 印鑑を持参すること。

一括募集